

(別紙4(2))

事業所名グループホームうららびより関ヶ原

## 目標達成計画

作成日：平成 30 年 3 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の2Fからの避難の方策がホーム内だけの対応になっていて実効性に乏しいのではないか	近隣、隣組の協力を得て避難訓練に参加してもらい、ホーム内の構造、居室位置、利用者の数、車いすの利用状況を知ってもらう。	推進会議に消防署、区長、民生委員、組長、隣組の参加を要請する。災害避難時(火災時等)に、近隣の方々に協力いただきたい旨を具体的に文章化して伝える。(警報が鳴ったら、職員が利用者をホーム庭に待機できるよう誘導するが、職員が不足する場合は待機先の利用者の見守り等をお願いする。)	6ヶ月
2	35	予測不能な自然災害の防災への意識づけ	利用者、職員の防災意識を高める。	防災頭巾を利用者、職員一緒に作る。作業工程を生活リハビリの一環として組み込み作業を通じ防災の意識を日常生活の中で培う。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。